

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	平成24年7月13日
【四半期会計期間】	第24期第1四半期（自平成24年3月1日至平成24年5月31日）
【会社名】	株式会社エスケイジャパン
【英訳名】	SK JAPAN CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 久保 敏志
【本店の所在の場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区上町一丁目4番8号
【電話番号】	06(6765)0670
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 川上 優
【縦覧に供する場所】	株式会社エスケイジャパン東京営業所 （東京都台東区寿三丁目14番13号） 株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

（注）1．上記の東京営業所は、未登記につき法定の縦覧場所ではありませんが、投資者の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

2．平成24年6月4日から縦覧に供する場所である株式会社エスケイジャパン東京営業所（旧住所：東京都台東区蔵前四丁目33番7号）が上記のとおり移転しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第23期 第1四半期連結 累計期間	第24期 第1四半期連結 累計期間	第23期
会計期間	自平成23年 3月1日 至平成23年 5月31日	自平成24年 3月1日 至平成24年 5月31日	自平成23年 3月1日 至平成24年 2月29日
売上高(千円)	1,946,415	1,920,737	8,825,224
経常利益又は 経常損失()(千円)	28,058	8,410	234,425
四半期純損失()又は当期純利 益(千円)	44,261	11,083	165,267
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	46,738	13,484	163,931
純資産額(千円)	1,819,909	1,925,940	1,986,071
総資産額(千円)	3,733,391	3,916,237	3,269,339
1株当たり四半期純損失金額 ()又は1株当たり当期純利益 金額(円)	5.38	1.35	20.09
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	48.4	48.6	60.2

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 第23期第1四半期連結累計期間及び第24期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。第23期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 第23期第1四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

5. 第24期第1四半期連結累計期間より潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額の算定に当たり、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号 平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日)を適用しております。

当該会計方針の変更は遡及適用され、第23期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額について遡及処理を行っております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間は、震災復興関連や個人消費を中心に底堅さをみせ、内需は総じて横ばいに推移しましたが、欧州の政府債務危機や円高、電力供給の制約など、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,920百万円（前年同期比1.3%減）、営業損失は5百万円（前年同期は23百万円の営業損失）、経常損失は8百万円（前年同期は28百万円の経常損失）、四半期純損失は11百万円（前年同期は44百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの概況は次のとおりであります。

<キャラクターエンタテインメント事業>

アミューズメント部門におきましては、主力販売先の機械の設置台数や顧客層等のデータを収集し、顧客ごとのニーズに即した商品を提案することによってシェアの拡大を図りました。商品では、「モケケ」や「Moja!」等のキャラクターの売上が好調に推移し、加えて当期から手掛けた新規キャラクターも人気となったため、売上高は992百万円（前年同期比11.1%増）となりました。

S P（セールスプロモーション）部門におきましては、出版会社を中心に受注を集めましたが、前年同期のような大型案件が獲得できず、売上高は130百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

E C（イーコマース）部門におきましては、かつての売上の中心であったフィギュア・ホビー商材が飽和状態にあり、価格競争も厳しいことから取扱いを中止したため、売上高は13百万円（前年同期比26.1%減）となりました。今後は、需要の高いぬいぐるみや雑貨を中心に、他社サイトと差別化できるオリジナル商品の開発へシフトしてまいります。

以上の結果、売上高は1,136百万円（前年同期比1.6%増）、営業損失は22百万円（前年同期は35百万円の営業損失）となりました。

<キャラクター・ファンシー事業>

当事業におきましては、スマートフォン向けアプリケーションのゲームキャラクターが好調でグッズの売れ行きが伸び、加えて九州を中心に「ゆるキャラ」の人気も高まりましたが、前年までの好調の要因であった人気キャラクターの落ち込みが大きく影響いたしました。

以上の結果、売上高は574百万円（前年同期比5.3%減）、営業利益は21百万円（前年同期比27.9%増）となりました。

<リテイル事業>

当事業におきましては、「ナカヌキヤ」3店舗において、松山銀天街店の売上高は前年同期の実績を下回りましたが、粗利益は前年同期の実績を超えました。また、心斎橋店は、外国人観光客が震災前の水準に戻りつつあり、近隣にオープンした海外アパレルメーカーのショップの相乗効果もあり、集客数が増加しました。しかし、広島本通り店は売り場面積の縮小と商店街の集客数減少の影響により苦戦しました。

「SALAD BOWL」3店舗においては、兵庫TSUKASHI店は前年同期を上回る売上高を確保しましたが、広島ASSE店は同フロアでの店舗移転以降苦戦が続き、平成24年4月にオープンした呉クレスト店も出店経費の影響で赤字となりました。

また、新業態としてレディス雑貨中心のセレクトショップ「MELTING POT soeurs」を平成24年3月に広島にオープンしました。

以上の結果、売上高は209百万円（前年同期比5.1%減）、営業損失は7百万円（前年同期は8百万円の営業損失）となりました。

(2)財政状態

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ646百万円増加し、3,916百万円となりました。これは主に、東京新ビルの取得による土地の増加額273百万円、現金及び預金の増加額168百万円、たな卸資産の増加額135百万円によるものであります。負債は、前連結会計年度末に比べ707百万円増加し、1,990百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加額350百万円、買掛金の増加額312百万円によるものであります。純資産は、前連結会計年度末に比べ60百万円減少し、1,925百万円となりました。これは主に、利益剰余金の減少額60百万円によるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

(5)主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第1四半期連結累計期間に完成したものは、次のとおりであります。

会社名 事業所名	セグメントの名称	設備の内容	完成年月
当社 東京営業所	キャラクターエンタ テインメント事業	土地 建物	平成24年5月

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,381,000
計	12,381,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成24年5月31日)	提出日現在発行数(株) (平成24年7月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	8,359,103	8,359,103	東京証券取引所 大阪証券取引所 各市場第一部	単元株式数 100株
計	8,359,103	8,359,103	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、平成24年7月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年3月1日 ~ 平成24年5月31日	-	8,359,103	-	440,948	-	471,887

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年2月29日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成24年5月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 133,800	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 8,176,600	81,766	-
単元未満株式	普通株式 48,703	-	-
発行済株式総数	8,359,103	-	-
総株主の議決権	-	81,766	-

（注）「完全議決権株式（その他）」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が900株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権に係る議決権の数9個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年5月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（％）
株式会社エスケイジャパン	大阪市中央区上町一丁目4番8号	133,800	-	133,800	1.60
計	-	133,800	-	133,800	1.60

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	775,960	944,400
受取手形及び売掛金	998,980	1,057,003
商品	339,147	474,947
繰延税金資産	20,606	26,192
その他	82,959	66,605
貸倒引当金	5,134	5,865
流動資産合計	2,212,520	2,563,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	424,036	531,381
減価償却累計額	162,244	164,486
建物及び構築物(純額)	261,792	366,895
車両運搬具	11,823	12,929
減価償却累計額	7,270	7,891
車両運搬具(純額)	4,552	5,037
その他	65,639	69,187
減価償却累計額	57,076	58,634
その他(純額)	8,562	10,553
土地	266,356	539,494
建設仮勘定	84,400	-
有形固定資産合計	625,663	921,980
無形固定資産	16,472	19,628
投資その他の資産		
投資有価証券	51,998	51,397
繰延税金資産	5,741	3,470
その他	372,940	367,135
貸倒引当金	15,997	10,657
投資その他の資産合計	414,682	411,345
固定資産合計	1,056,819	1,352,954
資産合計	3,269,339	3,916,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	537,731	849,938
短期借入金	350,000	700,000
未払法人税等	35,410	6,774
賞与引当金	37,482	80,242
その他	176,273	210,495
流動負債合計	1,136,897	1,847,450
固定負債		
繰延税金負債	692	465
役員退職慰労引当金	132,119	131,828
資産除去債務	10,085	10,115
その他	3,472	435
固定負債合計	146,370	142,845
負債合計	1,283,268	1,990,296
純資産の部		
株主資本		
資本金	440,948	440,948
資本剰余金	471,887	471,887
利益剰余金	1,105,241	1,044,806
自己株式	51,200	51,200
株主資本合計	1,966,877	1,906,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,597	611
繰延ヘッジ損益	228	122
為替換算調整勘定	2,238	2,303
その他の包括利益累計額合計	587	1,813
新株予約権	18,606	21,312
純資産合計	1,986,071	1,925,940
負債純資産合計	3,269,339	3,916,237

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	1,946,415	1,920,737
売上原価	1,449,438	1,380,861
売上総利益	496,976	539,876
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	185,850	184,362
賞与引当金繰入額	41,813	42,760
退職給付費用	8,999	7,721
役員退職慰労引当金繰入額	1,850	1,795
貸倒引当金繰入額	731	808
その他	280,961	307,848
販売費及び一般管理費合計	520,207	545,296
営業損失()	23,231	5,419
営業外収益		
受取利息	78	64
受取配当金	322	352
受取家賃	475	720
受取補償金	-	1,065
その他	532	2,106
営業外収益合計	1,408	4,309
営業外費用		
支払利息	1,120	1,296
投資有価証券評価損	1,935	4,158
為替差損	2,732	1,037
その他	447	807
営業外費用合計	6,235	7,300
経常損失()	28,058	8,410
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,136	-
特別損失合計	6,136	-
税金等調整前四半期純損失()	34,195	8,410
法人税、住民税及び事業税	4,455	6,011
法人税等調整額	5,609	3,339
法人税等合計	10,065	2,672
少数株主損益調整前四半期純損失()	44,261	11,083
四半期純損失()	44,261	11,083

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	44,261	11,083
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	2,296	1,985
繰延ヘッジ損益	49	350
為替換算調整勘定	131	65
その他の包括利益合計	2,477	2,401
四半期包括利益	46,738	13,484
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,738	13,484
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
減価償却費	6,552千円	4,714千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日至平成23年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月28日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成23年2月28日	平成23年5月30日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年5月31日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月19日 定時株主総会	普通株式	49,351	6	平成24年2月29日	平成24年5月21日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,118,763	606,887	220,764	1,946,415	-	1,946,415
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,375	31,435	-	33,810	(33,810)	-
計	1,121,138	638,323	220,764	1,980,225	(33,810)	1,946,415
セグメント利益 又は損失()	35,255	16,895	8,271	26,631	3,400	23,231

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額3,400千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	キャラクター エンタテイン メント事業	キャラクター・ ファンシー 事業	リテイル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,136,615	574,691	209,430	1,920,737	-	1,920,737
セグメント間の 内部売上高又は振替高	7,642	91,706	-	99,349	(99,349)	-
計	1,144,258	666,398	209,430	2,020,087	(99,349)	1,920,737
セグメント利益 又は損失()	22,469	21,609	7,497	8,357	2,937	5,419

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額2,937千円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
1株当たり四半期純損失金額	5円38銭	1円35銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	44,261	11,083
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	44,261	11,083
普通株式の期中平均株式数(株)	8,225,301	8,225,258
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(会計方針の変更)

当第1四半期連結会計期間より、「1株当たり当期純利益に関する会計基準」(企業会計基準第2号平成22年6月30日)及び「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第4号平成22年6月30日)を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に当たり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月11日

株式会社エスケイジャパン
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 後藤 紳太郎 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松嶋 康介 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社エスケイジャパンの平成24年3月1日から平成25年2月28日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成24年3月1日から平成24年5月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社エスケイジャパン及び連結子会社の平成24年5月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれておりません。